

Studyaid^{DB} information vol.35

さらに進化！

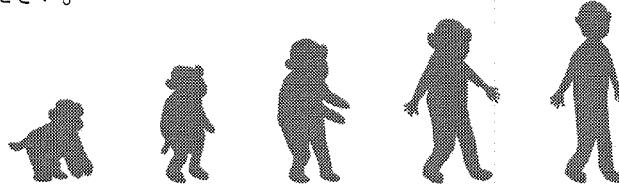
Studyaid DB 2008 シリーズ 新機能紹介

Studyaid D.B. をご愛用いただき、誠にありがとうございます。

今秋、Studyaid D.B. 数学入試 2008 (システムVer.13) の発売を開始いたしました。

そこで今回は、新しいシステム Ver.13 がどのように進化したのかを、それぞれの新機能について検証してみました。

みなさんもこれらを参考に、新しいStudyaid D.B.を実感してみてください。



検証 1 検索機能の進化

EVOLUTION

キーワードの AND 検索ができるようになった。

従来は、キーワードを複数選択した場合、そのいずれかに一致する問題を全て検索していました。

しかし、このAND検索を使って検索すれば、選択したキーワード全てに一致する問題のみを検索することができます。

(検索例)

「数学入試 2008 データベース」

- ・シュワルツ, 相加 \geq 相乗など
 - ・最大・最小, 値の変化

OR検索の場合 … 186問

AND 検索の場合 … 21 問

OR検索とAND検索をうまく使い分ければ、よりイメージに近い絞り込みができるそうですね。



検証 2 グラフ機能の進化

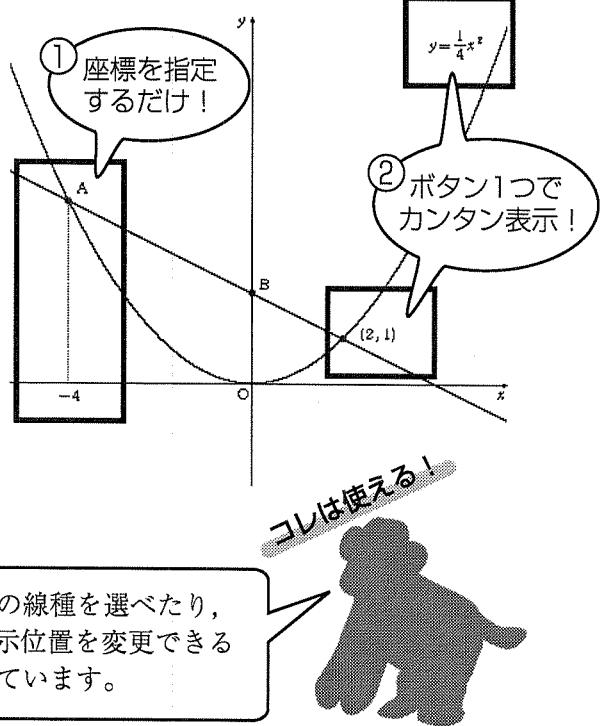
EVOLUTION

- ① 座標を指定するとグラフ上に点や垂線を描画できるようになった。
- ② グラフの式や点の座標をグラフ上に表示できるようになった。

従来は、作図機能や図中数式を使ってこれらの作業を行っていました。そのため、位置の調整が難しく、グラフの変更に伴う修正も面倒でした。

しかし、この新機能を使えば、簡単な操作で正確に描画を行うことができます。

その他、格子の線種を選べたり、 x , y , O の表示位置を変更できるようにもなっています。



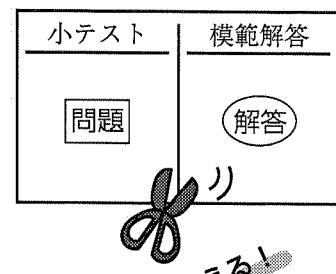
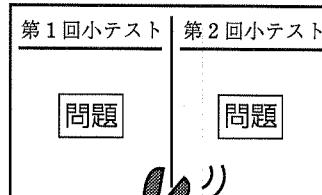
検証 3 レイアウト機能の進化

EVOLUTION

- ① B5判, A4判の用紙で横置き2段組を設定できるようになった。
- ② 段組無しの用紙を2ページ分割り付けてレイアウトできるようになった。

従来は、B5判, A4判用紙のレイアウトスタイルには縦置き段組無しかありませんでした。しかし、新しいStudyaid D.B.では、B5判, A4判の横置き2段組を可能にしています。

また、B6判, A5判サイズの小テストなども想定して1枚の用紙に2ページ分の内容を割り付けてレイアウトできるようになっています。



上のように、問題プリントと解説プリントを2ページ分割り付けてレイアウトし、出力した後に断裁して配布するという運用もできますね。

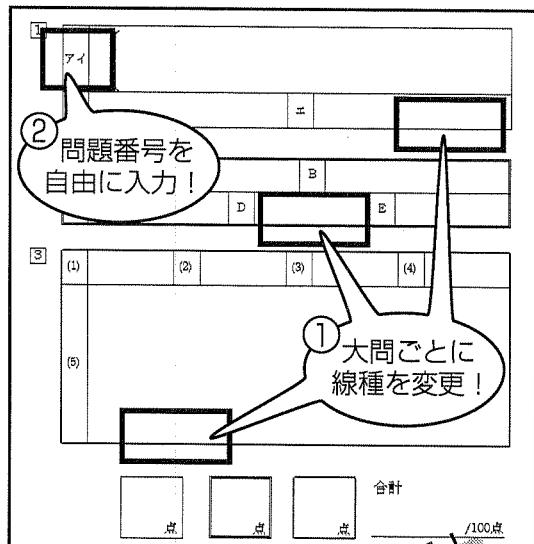


検証 4 解答欄機能 の進化

EVOLUTION

- ① 線種が変更できるようになった。
- ② 問題番号を自由に入力できるようになった。

昨年、システム Ver.12 で新たに搭載され、ご好評を得ている解答欄作成機能ですが、同時に多くのご要望もいただきました。その中でも、特にご要望の多かったものを新機能として搭載しています。これらの新機能を使えば、観点別に解答欄の枠の種類を変えたり、センター試験タイプの解答欄を作成したりすることも可能です。



その他、小問番号を 1 つの問題内で連番にしたり、解答欄の行の高さをドラッグで変更したりすることもできるようになりました。

いかがでしたでしょうか？ 今後とも Studyaid D.B. のさらなる進化にご期待ください。

New

中学数学 1・2・3 年 データベース (システム Ver.13)

中学校の標準的な内容の復習に最適のデータベースです。

収録問題数 4,138 問 標準価格 30,000 円 (税込)

